

27
エリミヤ
聖徒伝 248

偽りがもたらす 異端と放縦

エレミヤ書 27章

諸国の王とゼデキヤ王への宣告

アウトライン

0. イントロダクション

I. 諸国の王への御告げ 1～11

II. ゼカリヤ王への御告げ 12～22

III. 偽預言者

IV. まとめと適用

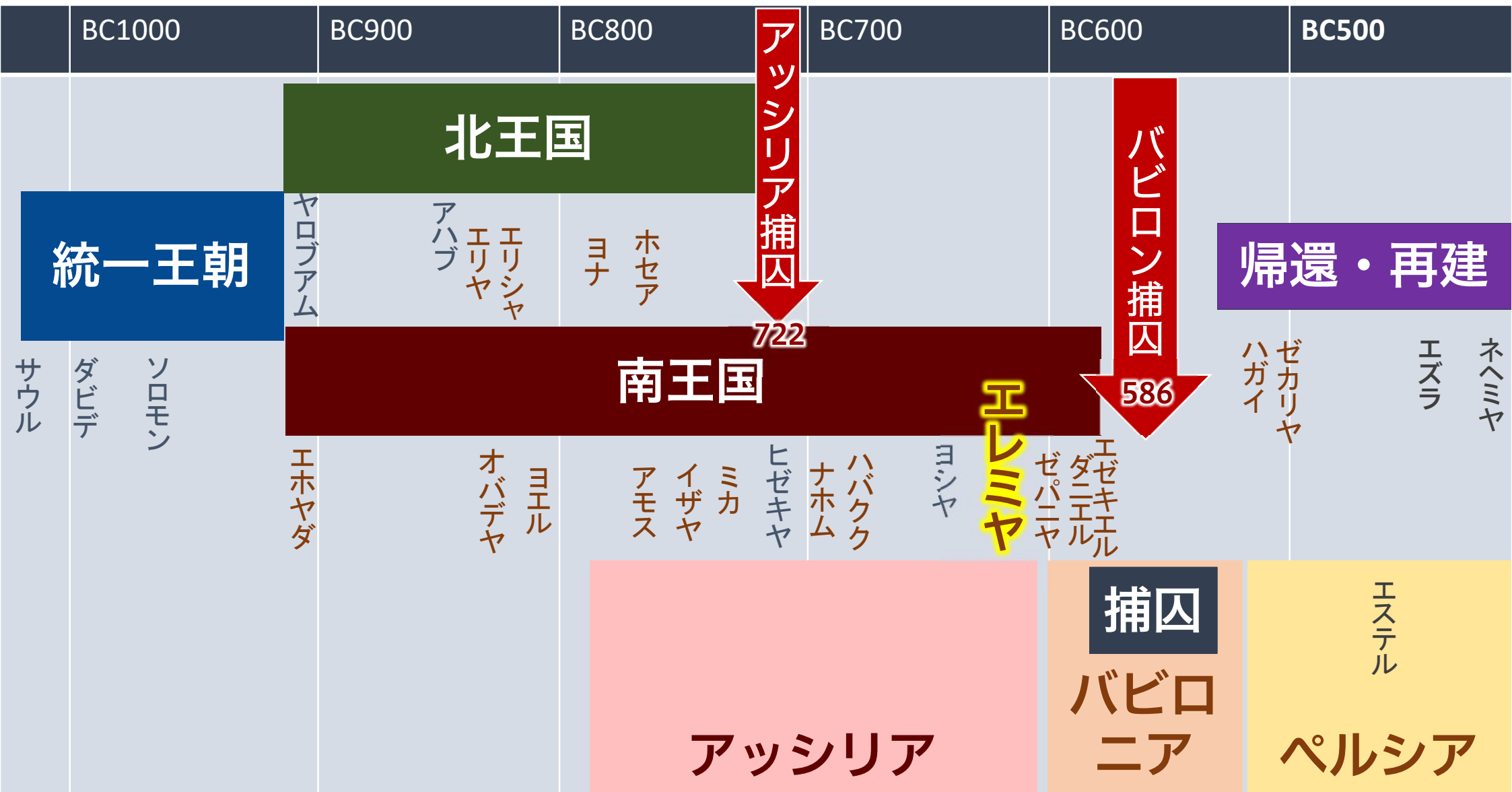
偽りがもたらす異端と放縦





0. イントロダクション

イスラエル王国史



最後の王たち

ヨハナン

第一次捕囚

第二次捕囚



キリスト

⑱エホヤキム
25歳～(11年)

⑲エホヤキン
(エコンヤ)
18歳～(3ヶ月)

エジプトで死

⑳エホアハズ(シャルム)
23歳～(3ヶ月)

バビロンで死

第三次捕囚

㉑ゼデキヤ 21歳～(11年)

⑯ヨシヤ
8歳～(31年)

ネブカドネツアル王

■ 新バビロニア帝国の二代目の王。
バビロンを再建。壮大な都市に。

■ BC605、37歳で即位 アッシリアを壊滅
イスラエル、シリアへ侵攻開始

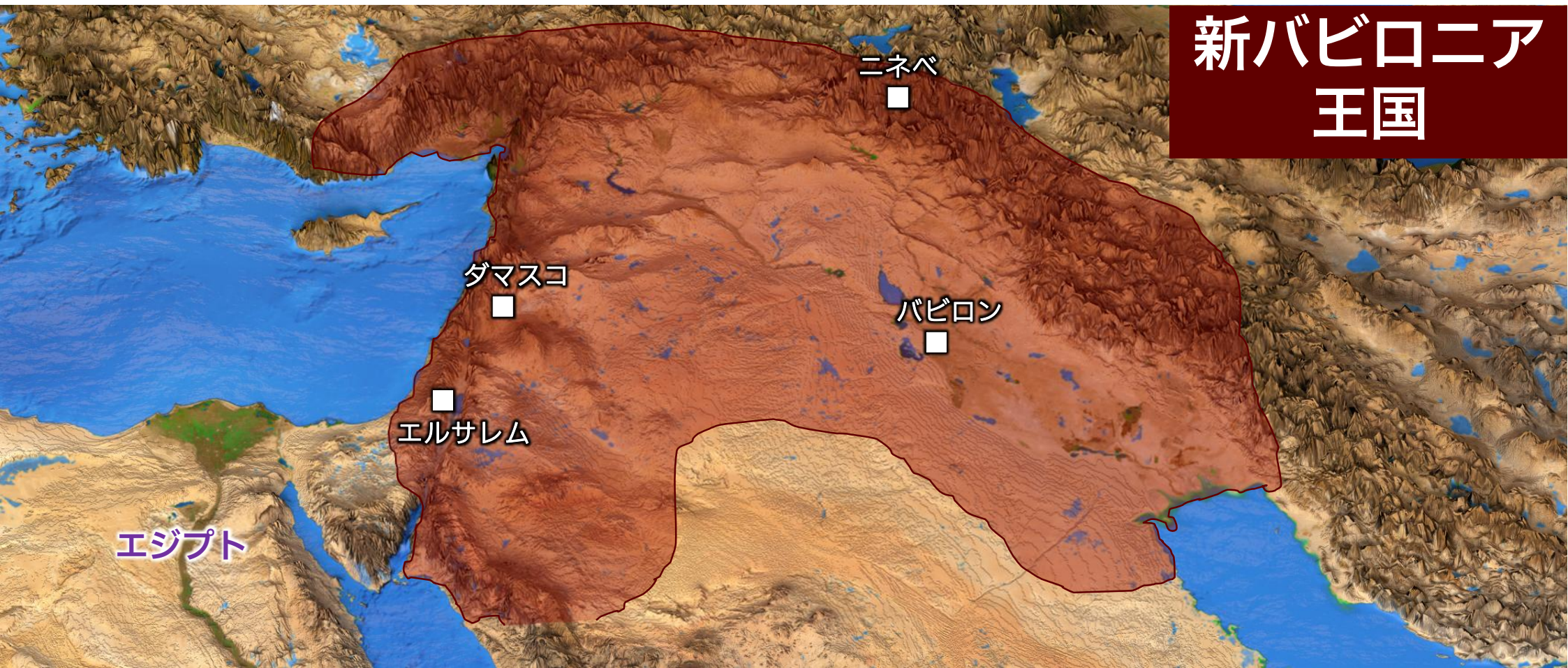
BC597 45歳 エルサレムを占領、ユダを属国化

BC586 55歳 エルサレム陥落 神殿を破壊

BC562、80歳で死去



新バビロニア 王国



■ネブカドネツアル王は、アッシリアを滅ぼし、エジプトと激しく争い、退けて、シリア、イスラエル地方までを征服。



Ⅰ. 諸国の王への御告げ

エレミヤ書27章1～10節

アラビア半島の町

御告げ

主の御告げ エレ27:1

ユダの王、ヨシヤの子の**エホヤキム***の治世の初めに、【主】からエレミヤに次のようなことばがあった。

＊いくつかの写本では、“ゼデキヤ”

おそらく、本来はゼデキヤ。写しミスか。



御告げ

縄とかせ エレ27:2～3

【主】は私にこう言われた。「あなたは縄とかせを作り、それをあなたの首に付けよ*。

そうして、エルサレムのユダの王ゼデキヤ*のところに来る使者たちによって、エドムの王、モアブの王、アンモン人の王、ツロの王、シドンの王に伝言を送り、彼らがそれぞれの主君に次のことを言うように命じよ。」

＊虜囚の姿

＊ここでは明確にゼデキヤ

＊交流があったイスラエル周辺の諸国の王



御告げ

諸国の王への宣告 エレ27:4～6

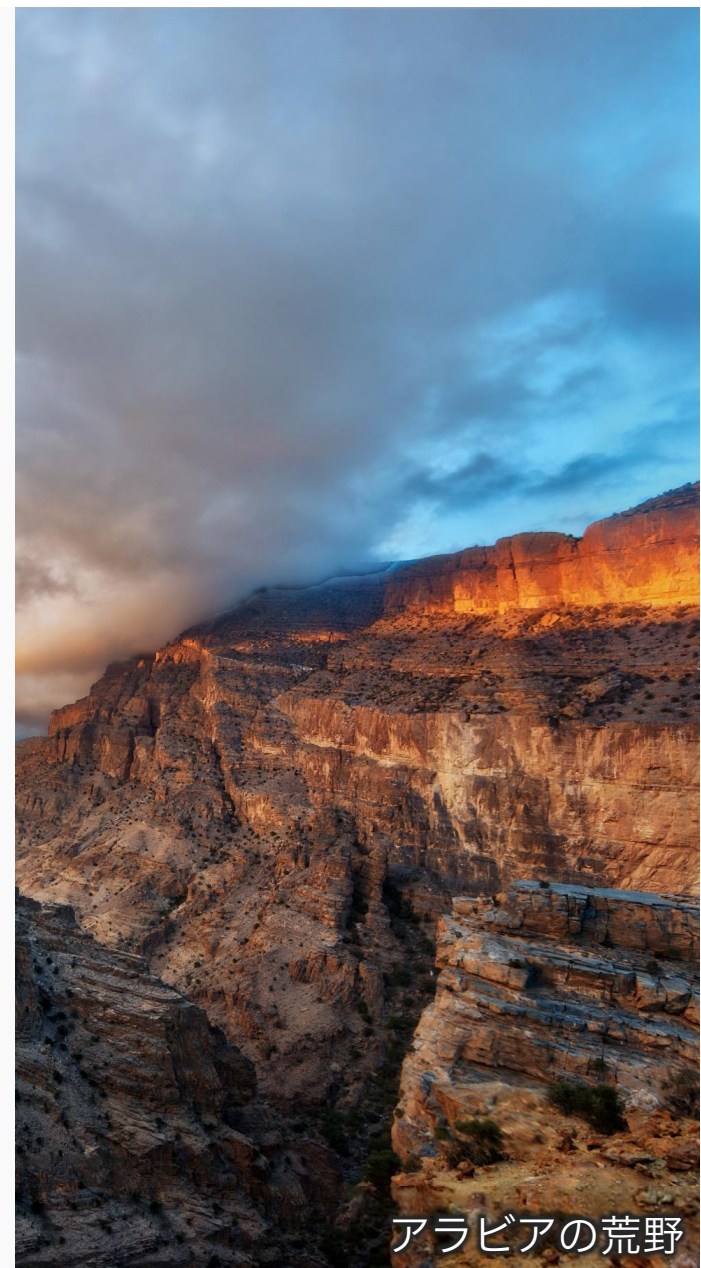
『イスラエルの神、万軍の【主】はこう言われる。あなたがたは主君にこう言え。

わたしは、大いなる力と伸ばした腕をもって、地と、地の面にいる人と獣を造った。わたしは、わたしの目にかなった者に、この地を与える。

今わたしは、これらすべての地域をわたしのしもべ、バビロンの王ネブカドネツアルの手に与え、野の生き物も彼に与えて彼に仕えさせる。

■ 歴史を支配される主が、

ネブカドネツアルをこの地の王に定められた。



アラビアの荒野

御告げ

バビロニア王の権威 エレ27:7～8

彼の地に時が来るまで、すべての国は、彼とその子と、その子の子に仕える。しかしその後で、多くの民や大王たちが彼を自分たちの奴隷にする。

バビロンの王ネブカドネツアルに仕えず、またバビロンの王のくびきに首を差し出さない国や王国があれば、わたしは剣と飢饉と疫病をもってその民を罰し——【主】のことば——彼の手で彼らを皆殺しにする。

- バビロニアは、諸国を破り、支配権を拡大。ペルシアに敗北後は、隷従する立場に。



アラビアの砂漠

御告げ

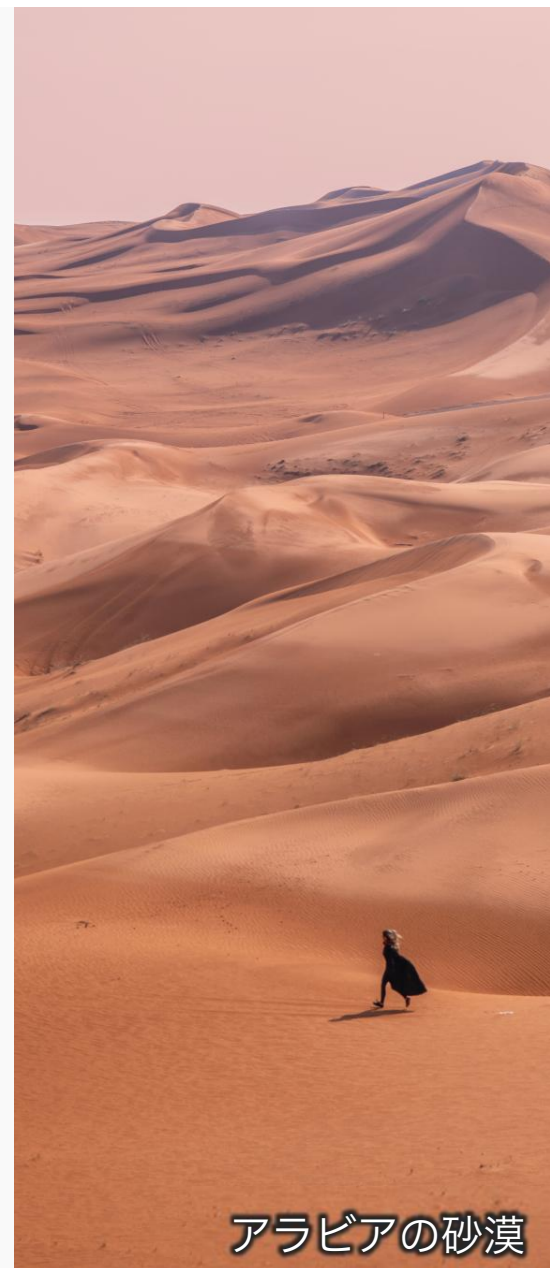
偽預言者たち エレ27:9～10

だから、あなたがたは、バビロンの王に仕えることではないと言っているあなたがたの**預言者**、占い師、夢見る者、卜者、呪術者*に聞き従ってはならない。

彼らは、あなたがたに偽りを預言しているからだ。それで、あなたがたは自分たちの土地から遠くに移され、わたしはあなたがたを追い散らして、あなたがたは滅びることになる。」

＊**偽預言者**と、律法が厳禁した呪術者は同じ扱い

■ 偽預言者に聞き従った罪(≡偶像礼拝)により、イスラエルは、バビロン捕囚の裁きを招いた。



アラビアの砂漠

御告げ

保護の約束 エレ27:11

しかし、バビロンの王のくびきに首を差し出して彼に仕える国を、わたしはその土地にとどまらせる——【主】のことば——。こうして、人々はその土地を耕し、そこに住む。』」

■ 主の裁きとしてバビロニアの支配を受け入れるなら、周辺諸国にも主の守りがある。

➡ ことごとく抵抗して滅んでいった



アラビアに残る遺跡



Ⅱ. ゼカリヤへの御告げ

エレミヤ書27章12～22節

ユダの荒野

御告げ ゼデキヤへの御告げ エレ27:12

ユダの王ゼデキヤ*にも、私はこのことばのとおりと言った。

「あなたがたはバビロンの王のくびきに首を差し出し、彼とその民に仕えて生きよ。」

＊最後の王・ゼデキヤにも同様の御告げが

■ 甘んじて神の裁きを受け入れるなら、
捕囚先でも主の加護を受けて守られる。

➡ 繰り返し伝えられてきたこと



ユダの荒野

御告げ 偽預言への警告 エレ27:13～14

「なぜ、あなたとあなたの民は、【主】がバビロンの王に仕えない国に向かって語られたように、剣と飢饉と疫病で死のうとするのか。

『バビロンの王に仕えることはない』とあなたがたに語る預言者たちのことばに聞き従ってはならない。彼らがあなたがたに偽りを預言しているからだ。」

■ 偽りの預言に従えば、その先は滅び。

➡ 滅びの宣告も繰り返されてきた



ユダの荒野

御告げ

主の名による偽り エレ27:15

「わたしは彼らを遣わさなかったのに—【主】のことば— 彼らはわたしの名によって偽りを預言*している。わたしがあなたがたを追い散らし、あなたがたも、あなたがたに預言している預言者たちも、滅びることになるのだ。」

■主の名による偽りの預言は、告げた者も、聞き従った者にも厳しい裁きをもたらす。



ユダの荒野

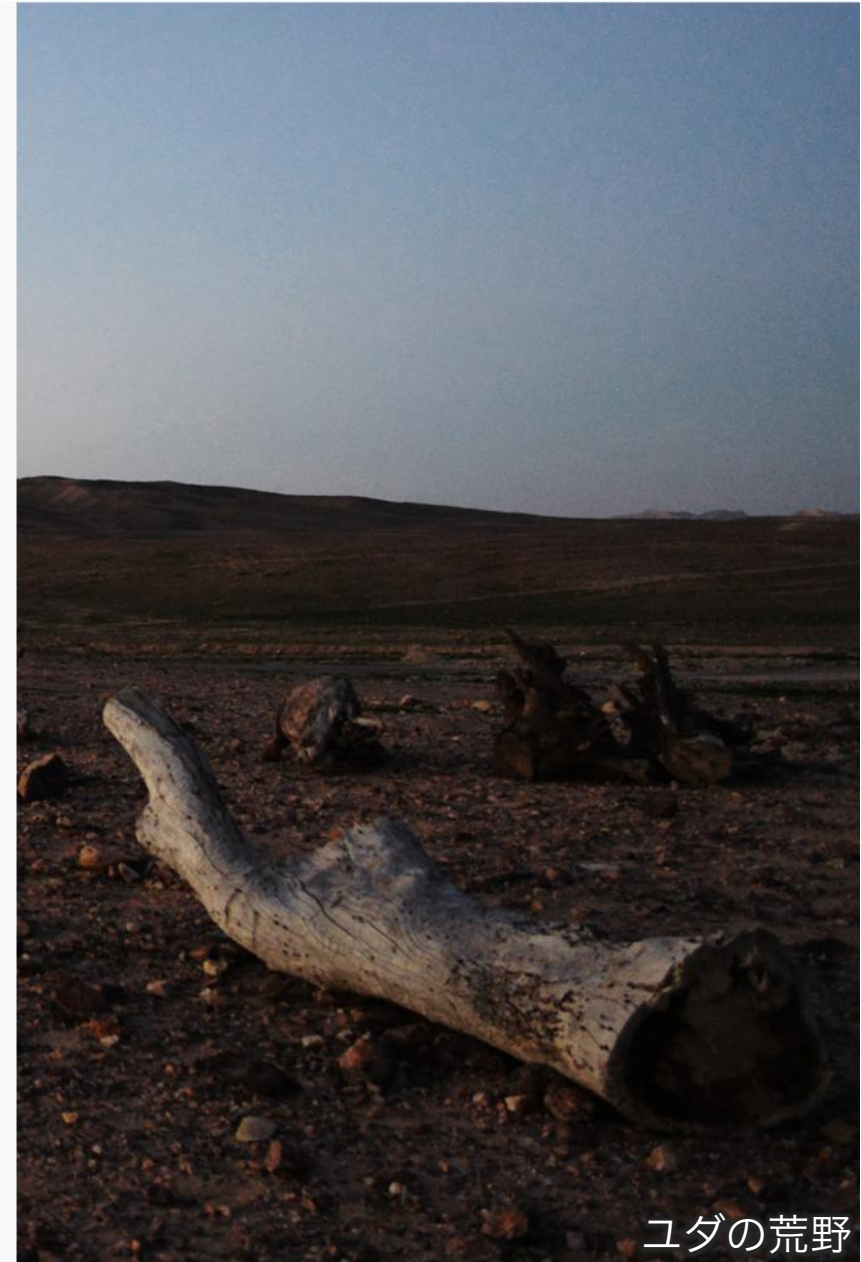
御告げ

偽の解放の預言 エレ27:16

私はまた、祭司たちとこの民全体に向かって語った。「【主】はこう言われる。あなたがたは、『見よ、【主】の宮の器は、バビロンから今すぐにも戻される』とあなたがたに預言している、あなたがたの預言者のことばに聞き従ってはならない。彼らはあなたがたに偽りを預言*しているのだ。」

*16/35回がエレミヤ。27章に4回(最多)

- 都の宝物は、すでにバビロニアが略奪。
- 偽預言者は、すぐにも解放されると、人々に告げ、支持を得ていた。



ユダの荒野

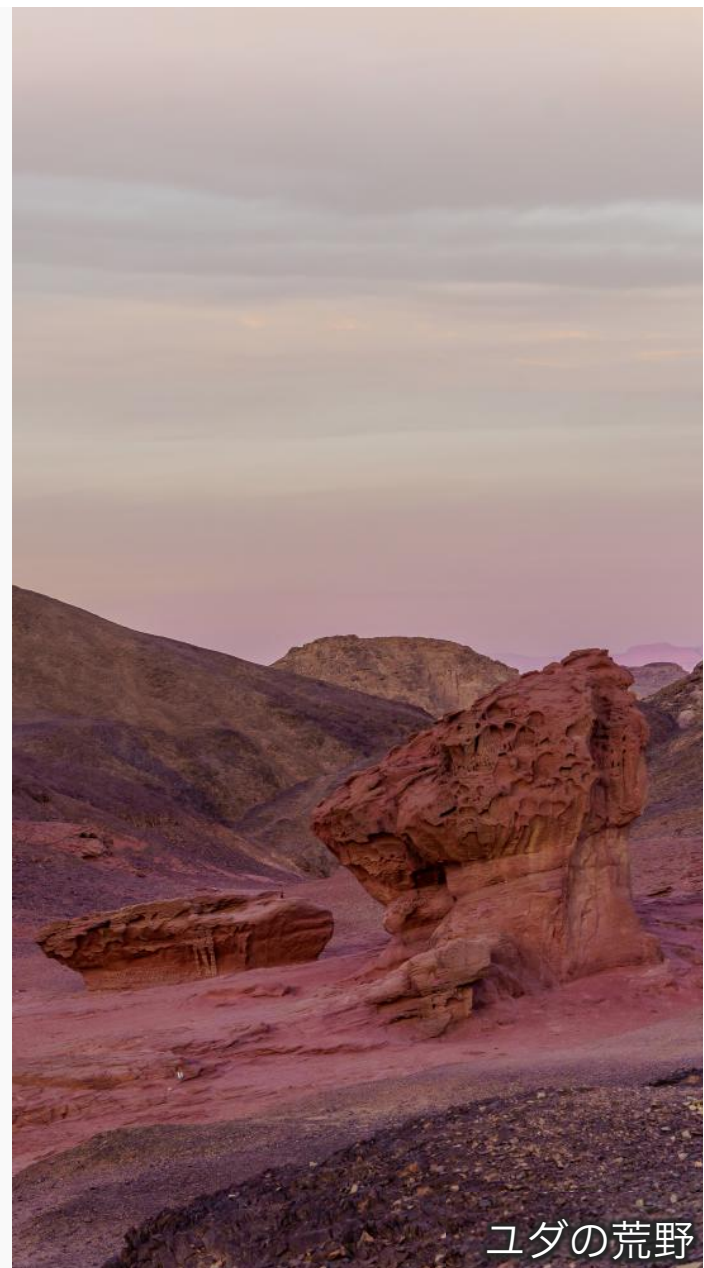
御告げ

真の預言者なら エレ27:17～18

「彼らに聞き従ってはならない。バビロンの王に仕えて生きよ。どうして、この都が廃墟になってよいであろうか。

もし彼らが預言者であるなら、もし彼らに【主】のことばがあるなら、彼らは、【主】の宮、ユダの王の宮殿、またエルサレムに残されている器がバビロンに持って行かれないよう、万軍の【主】にとりなしをするはずだ。」

- 真の預言者なら、主への従順を人々に告げ、滅びを免れるよう、とりなしをするはず。



ユダの荒野

御告げ

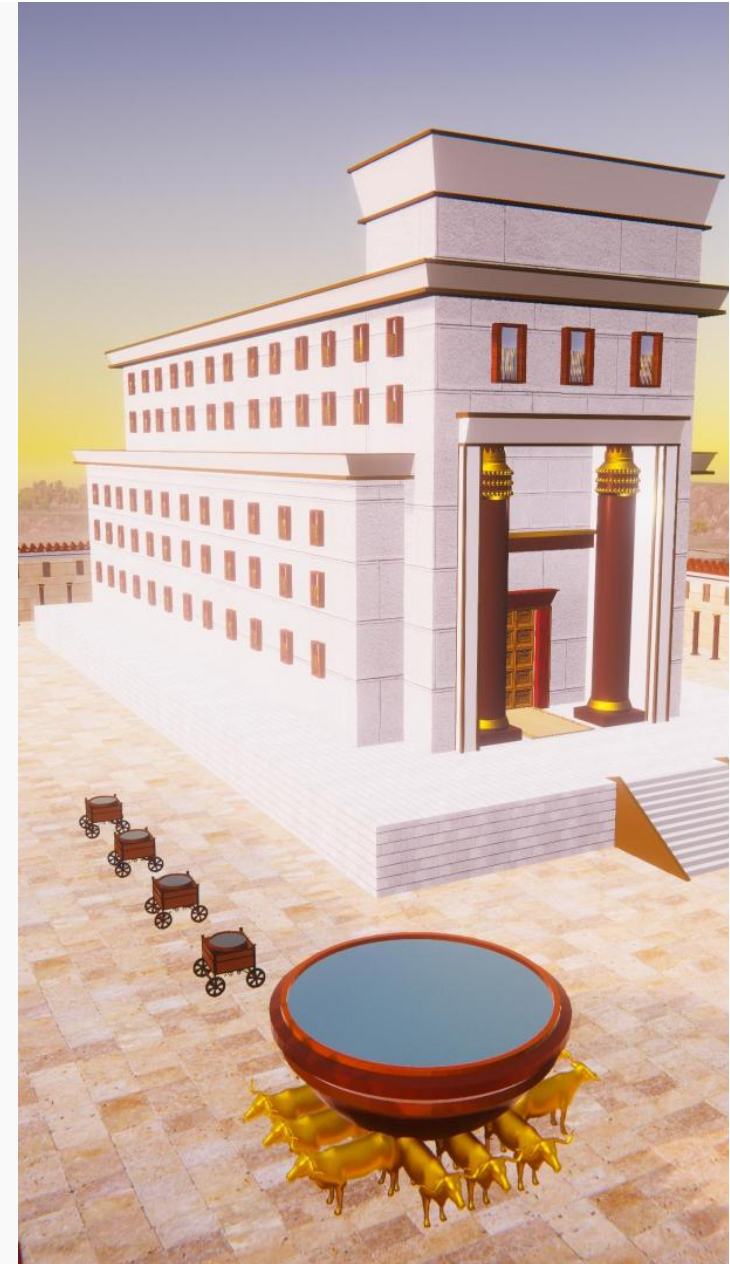
残された宝 エレ27:19～20

まことに万軍の【主】は、神殿の柱、『海』、車輪付きの台*、また、この都に残されているほかの器について、こう言われる。

—これらの物は、バビロンの王ネブカドネツアルがユダの王、エホヤキムの子エコンヤ、およびユダとエルサレムのすべてのおもだった人々をエルサレムからバビロンへ引いて行ったときに、奪い取らなかったものである—

＊ソロモンが造らせた銅製の鑄造品

■ 第二次捕囚で神殿に残されていた宝物も、最終的にすべて破壊、略奪される。



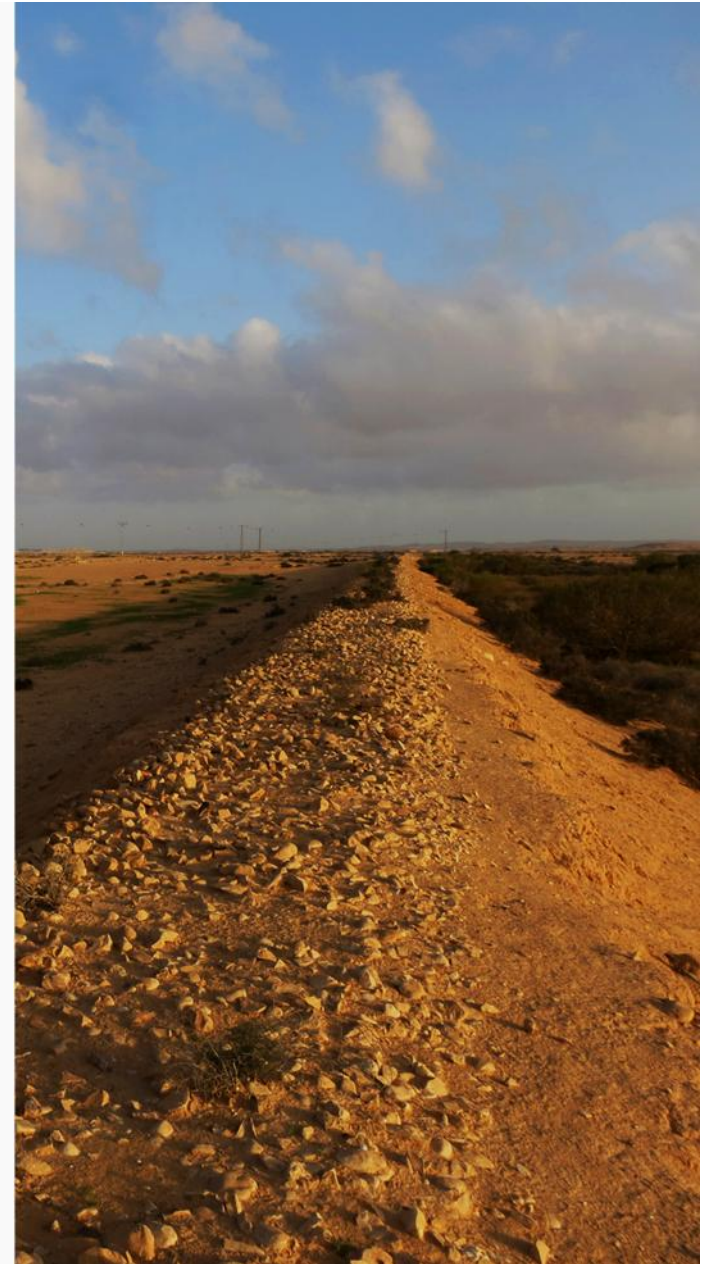
御告げ 残された宝の返還 エレ27:21～22

「まことに、イスラエルの神、万軍の【主】は、
【主】の宮とユダの王の宮殿とエルサレムに残
された器について、こう言われる。

『それらはバビロンに運ばれて、わたしがそれ
を顧みる日まで、そこにある——【主】のこと
ば——。そしてわたしはそれらを携え上り、こ
の場所に戻す。』」

■ 70年の捕囚期間の後、残された宝は返還。

➡ 残れる信仰者も解放され、都に帰還





Ⅲ. 偽預言者とは？

アラビア半島の荒野

「【主】は私に言われた。「あの預言者たちは、わたしの名によって**偽りを預言**している。わたしは彼らを遣わしたこともなく、彼らに命じたこともなく、語ったこともない。彼らは、**偽りの幻と、空しい占いと、自分の心の幻想***を、あなたがたに預言しているのだ。エレ14:14」

■ **偽預言**とは、人間の願望、偽りの幻想から出た言葉。

…現実逃避、偶像礼拝の産物、欲望の反映

偽預言は、なんの聖書的根拠もない幻想、希望的観測

■ すべてが偽りのイスラエル・北王国 イザヤ9:13～16

しかし、この民は自分を打った方に帰らず、万軍の【主】を求めない。そこで【主】はイスラエルから、かしらも尾も、なつめ椰子の葉も葦も一日のうちに断ち切られる。

そのかしらとは長老や身分の高い者。その尾とは**偽りを教える預言者**。この民を導く者は迷わす者となり、彼らに導かれる者は惑わされる者となる。

■ 主に立ち返らない北王国イスラエルは、頭から尻尾まで偽り。かしらが、指導者たち。尾が、**偽預言者**。

「**預言者は偽りの**預言をし、祭司は自分勝手に治め、わたしの民はそれを愛している。結局、あなたがたはどうするつもりなのか。エレミヤ5:31」

「それゆえ、わたしは彼らの妻を他人に、彼らの畑を侵略者に与える。なぜなら、身分の低い者から高い者まで、みな利得を貪り、**預言者から祭司に至るまで、みな偽り**を行っているからだ。エレミヤ8:10」

■ エレミヤが偽預言の記載が最多 16/35回。27章で4回。

➡ 捕囚目前の南王国末期は、**偽預言者**だらけ。

■北王国アハブ王へのミカヤの預言 | 列王22:23

「今ご覧のとおり、【主】はここにいるあなたのすべての預言者の口に、**偽りを言う霊**を授けられました。【主】はあなたに下るわざわいを告げられたのです。」

■偽預言の背後には、悪霊が!!

■**偽りの霊(悪霊)**すら、主の許された範囲で活動。

■アハブ王は、預言通り、流れ矢で死に犬が血をなめた。

主を拒みつつつけた末に、偽預言を信じ、頑なにされる

「見よ。わたしは**偽りの夢を預言する者**たちの敵となる——
【主】のことば——。彼らは、偽りと自慢話をわたしの民に
語って迷わせている。わたしは彼らを遣わさず、彼らに命じも
しなかった。彼らは、この民にとって何の役にも立たない。
エレミヤ23:32」

「それゆえ、見よ、わたしは**あなたがた**を全く忘れ、**あなたが**
たとあなたがたの先祖に与えたこの都を、**あなたがた**とともに、
わたしの前から捨てて、**永遠の恥辱**、忘れられることのない
永遠の侮辱をあなたがたに与える。エレミヤ23:39～40」

偽預言者の末路は、主に捨てられる 永遠の恥辱

新約 メシアの宣告 偽預言者同様の偽善者へ

「しかし、富んでいるあなたがたは哀れです。あなたがたは慰めをすでに受けているからです。

今満腹しているあなたがたは哀れです。あなたがたは飢えるようになるからです。今笑っているあなたがたは哀れです。あなたがたは泣き悲しむようになるからです。

人々がみな、あなたがたをほめるとき、あなたがたは哀れです。彼らの先祖たちも、**偽預言者**たちに同じことをしたのです。ルカ6:24～26」

偽預言者・偽善者が欲するのは、人からの評価・誉れ

「**偽預言者**たちに用心しなさい。彼らは羊の衣を着てあなたがたのところに来るが、内側は貪欲な狼です。

あなたがたは彼らを**実**によって見分けることになります。茨からぶどうが、あざみからいちじくが採れるでしょうか。マタイ7:15～16」

■ **偽預言者**は、信仰者を装って、教会の内部に。

➡ 言葉は巧み。むしろ熱心な信仰者に見える。

➡ **実(行動)**によって見分けられる。

「愛する者たち、霊をすべて信じてはいけません。偽預言者がたくさん世に出て来たので、その霊が神からのものかどうか、吟味しなさい。

神からの霊は、このようにして分かります。人となって来られたイエス・キリストを告白する霊はみな、神からのものです。イエスを告白しない霊はみな、神からのものではありません。それは反キリストの霊です。あなたがたはそれが来ることを聞いていましたが、今すでに世に来ているのです。 Ⅰヨハ4:1～3」

偽預言者の背後には、反キリストの霊が!!

新約

メシアの終末預言における偽預言者

「そのとき多くの人がつまずき、互いに裏切り、憎み合います。また、**偽預言者**が大勢現れて、多くの人を惑わします。不法がはびこるので、多くの人々の愛が冷えます。しかし、最後まで耐え忍ぶ人は救われます。マタ24:10～13」

■ 世の終わりの大艱難時代には、多くの**偽預言者**が!!
多くの人々が惑わされ、不法がはびこり、愛が冷える。

再臨の主イエスによって、偽預言者は取り去られる

「彼らを惑わした悪魔は火と硫黄の池に投げ込まれた。そこには獣も**偽預言者***もいる。彼らは昼も夜も、世々限りなく苦しみを受ける。黙示録20:10」

*究極の**偽預言者**は、悪魔、獣(反キリスト)と一体。

大艱難時代、獣(反キリスト)を拝むよう人々を惑わす。

■メシアがよみに生きたまま投げ込み、永遠の苦しみに。

偽預言者は、永遠の滅びに至る



IV. まとめと適用

偽りがもたらす異端と放縦

アラビア半島の荒野

■旧約時代

アハブ王の時代の北王国に出現。北王国を滅亡に誘う。
南王国にも蔓延。末期にピーク。バビロン捕囚を招く

➡**偽預言**は、王国時代の最も重い罪・偶像礼拝と一体

■新約時代

メシアが非難した偽善者も、本質的に偽預言者と同じ。

メシアが指摘した最も重い罪 ➡**偽善 (= 偽預言)**

羊の皮を被った狼 ➡内側から教会を破壊

まとめ

偽預言者と偽善者、偽教師

- 偽預言者、偽善者、偽教師、反キリスト…。
 - ➡ 本質は同じ。主の名によって偽りを告げる者たち
- 偽預言者、偽善者が求めるもの
 - ➡ 人の評価、誉れ
 - ➡ 内にある動機は、貪欲(自分の欲望の充足)
- 偽預言者、偽善者の末路は、永遠の滅び

まとめ

偽りの者は、内部に現れる

■ 偽預言は、イスラエル内の罪。

偽善は、教会内の罪。

➡ 信仰共同体を内側から破壊する。
「羊の皮を被った狼(マタイ7:15)」



偽預言者・偽善者は、教会の外にはいない。内にいる。

「しかし、御民の中には**偽預言者**も出ました。同じように、あなたがたの中にも**偽教師**が現れます。**彼ら**は、滅びをもたらす**異端**をひそかに持ち込むようになります。自分たちを買い取ってくださった主さえも否定し、自分たちの身に速やかな滅びを招くのです。また、多くの者が彼らの**放縦**に倣い、**彼ら**のせいで真理の道が悪く言われることになります。

彼らは貪欲で、うまくこしらえた話であなたがたを食い物にします。彼らに対するさばきは昔から怠りなく行われていて、彼らの滅びが遅くなることはありません。Ⅱペテ2:1～3」

偽預言者(偽教師)は、異端と放縦をもたらす

偽りがもたらす 異端と放縦

①滅びをもたらす**異端**をひそかに持ち込む。
自分たちを買い取ってくださった主さえも否定。

②多くの者が彼らの**放縦**に倣う。
彼らのせいで、真理の道が悪く言われる。

■**異端**は分かる、が、**放縦**とは？

一般常識では？

放縦とは？

「何の規律もなく勝手にしたいことをすること」

「規律や節度がなく、きまま、わがままなこと」

デジタル大辞泉

例文) 「放縦な人は小さなものをつまづかすことを
おそれないのだ。」 倉田百三 「出家とその弟子」

■ したいことをして、責任を負わない。それが放縦。

聖書では？

放縦とは？

■ アセルゲイア …放縦、好色

※ アクラシア (マタイ23:25、Ⅰコリ7:5) …放縦、誘惑

■ 放縦は、性的放縦をも含む。靈的姦淫は、姦淫を含む。
(好色)

例) ソドムを滅びに陥らせた罪が、**放縦**。(Ⅱペテ2:7)

放縦は、人々を滅びに追いやる重い罪

放縱の罪がもたらす破壊

「多くの者が彼らの**放縱**に倣い、彼らのせいで真理の道が悪く言われる。Ⅱペテロ2:2」

- クリスチャンの**放縱**のために、
主イエスの福音の真理の道までもが悪く言われる。
- 結果、人々は福音から離れ、救いも遠ざかる。

放縱は、人々を滅びにおいやる重い罪

教会を蝕む放縦の罪

例) ノンクリスチャンの親子が教会の集会に出席。
カーペットが落書きだらけ。➡教会の反応は？
以後、親子は教会には来なかった。なぜ？

■ 親は、後ろめたさを抱えたまま。

子どもの教育上も良くない。ここはヤバい!!

真面目な親ほど、敬遠してしまうのでは？

何の責任も取らせせない。叱らないのが、赦し？

放縦がもたらす教会の現状

- 結婚相手の男性がいない!! 多くのクリスチャン女性。
教会における、生活力のある自立した男性の少なさ。
例) ある実業家…クリスチャン男性は使えない。
社会的責任も負わず、世への証しにならない。
- 父性の欠落。義の神、神の約束が教えられてない。
約束は守る。言ったことはやる。それが真の自立。
➡もちろん、無条件の愛は、大切な土台。しかし、
「いいのよ」と、受容するだけでは人は成長しない

放縦をもたらし偽りの者たちへの裁き

■ イエスの兄弟ユダが手紙を書いた動機 ユダ1:4

「それは、ある者たちが忍び込んできたからです。彼らは不敬虔な者たちで、私たちの神の恵みを**放縦**に変え、唯一の支配者であり私たちの主であるイエス・キリストを否定しているので、以下のようなさばきにあうと昔から記されています。」

■ 列挙される裁きは、…反逆したイスラエルへの荒野での裁き、
大洪水、ソドムとゴモラ

放縦は、主イエスの十字架を貶める 裁きを招く重い罪

すべての人には刈り取りがある

■ 刈り取りの原則 ガラテヤ6:7～8

「思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、**刈り取り**もすることになります。

自分の肉に蒔く者は、肉から滅びを**刈り取り**、御霊に蒔く者は、御霊から永遠のいのちを**刈り取る**のです。」

➡ 放縦に欲望や感情のままに生きて、**滅び**に至るのか？

➡ 悔い改めつつ、主に聞き従い、**永遠の命**に至るのか？

曲げられない 罪と赦しの大前提

- 責任を取らせないことが赦し？ ➡ **放縦の罪の肯定**
神の義の欠如。主への侮り。誤った教会の風潮。
放縦なクリスチャンにより、真理の道が貶められる。
- 放蕩息子のたとえ・罪の赦しの大原則
➡ 弟息子の悔い改めなくして、父の赦しはなかった

認罪なくして救いはない。悔い改めなくして、赦しはない

痛みが伴う 信仰の道

「神のことは生きていて、力があり、両刃の剣よりも**鋭く**、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに**刺し貫き**、心の思いやわかりごとを**見分ける**ことができます。

ヘブル 4:12」

■ 聖書の学びには、常に痛みが伴う。

学びを深めるほどに、全身を刺し貫かれ、心の奥から浮かび上がってくる、隠されていた私の罪がある。

ただ、主の前に、打ち砕かれればいい

主の憐れみに生かされているからこそ

「私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯しませんでしたが、すべての点において、私たちと同じように試みにあわれたのです。

ですから私たちは、**あわれみ**を受け、また**恵み**をいただいて、折にかなった助けを受けるために、大胆に**恵みの御座**に近づこうではありませんか。ヘブル4:15～16」

■ 打ち砕かれることを厭わず、信仰の道を歩んでいける。

ただ信仰と恵みによる救いが いつでも私たちの土台

★ 偽りの放縦から、真理の道へ ★

- 偽りが生む、異端と放縦が、内部から教会を破壊する。
抵抗するすべは、御言葉の真理に堅く立つこと。
御言葉の慈しみと厳しさ、神の愛と義を味わい知ろう。
- 認罪なくして救いはない。悔い改めなく赦しはない。
主の前に悔い改めて、赦されない罪はない。
「自分」は打ち砕かれていくだけ。新しい命を生きよう。

日々、砕かれつつ悔い改め、主イエスの道を歩んでいこう

てん　とう　わたし　つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

わたし　かみ　みこ　しゅ
私たちは、神の御子、主イエス・キリストが、

わたし　つみ　あがな　じゅうじか　し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか　ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ　ふっかつ　しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

いま　いつわ　いたん　ほうじゅう　きょうかい　うち　はかい　じだい
今は、偽りによる異端と放縦が、教会を内から破壊する時代です。

しんり　みことば　かた　た　わたし　う　くだ
真理の御言葉に堅く立ちます。私たちが打ち砕いてください。

く　あらた　ゆる　え　ひび　あら　あゆ　もの
悔い改めて赦しを得、日々新たにされて歩む者としてください。

わたし　みたま　み　しゅ　しょうにん　つか
どうか私を御霊で満たし、主イエスの証人として遣わしてください。

しゅ　な　いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。　アーメン」